

風土記と 宍粟①

昨年は『古事記』編さん1300年であったが、平成25年は和銅6年5月の風土記撰進の下命から1300年となる。

この命令を受けて諸国では風土記の編さんが行われたのだろうが、今日まで残っているのは、わずかに常陸・出雲・播磨・豊後・肥前の5国のみ。しかも、完全な形で残っているのは『出雲国風土記』だけで、『播磨国風土記』も明石郡や赤穂郡の記事が欠けている。

しかし、この風土記によって、『日本書紀』や『続日本紀』といった正史ではうかがうことができない郷土のことが手に取るようにわかるから、大変貴重な記録だといえる。

さて、風土記撰進に際し要求されたのは、①郡や里の名に好字をつけること②郡内で採れる鉱物や植物・草木・鳥獣・魚虫のリスト③土地の肥沃度

④山川原野の地名の由来⑤古老の伝承の5項目。これら5項目は、『播磨国風土記』にはどのように記されているのだろうか。

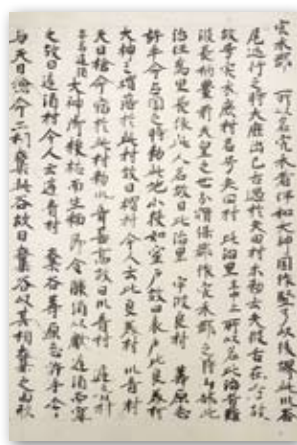
まず、①地名に好字をつけようという好字とはどういうことだろう。ヒントは飾磨郡安相里条の「字を改めて二字に注す」ではないか。損保郡香山里は本の名の鹿来墓を2字に改め、墓字は避けている。また飾磨郡伊和里の本の名は伊和部。ここでも2字名に改められているから、安相里条はこういったことをいっているのだろう。

では宍粟はどうだろうか。『播磨国風土記』ではしその漢字表記は宍禾だが、一例ながら飾磨郡伊和里条に積嶮とある。木簡には宍粟・宍禾・積嶮の表記があるから、風土記には宍禾が好字として採用されたのかも知れない。次に②の郡内で採れる品目

のリストだが、宍禾郡では柏・菅・檜・杉・栗・檀・黄蓮・黒葛・ワサビ・鉄・狼・熊等が記されている。ただ、柏野里敷草村と御方里金内川には「鉄を生ず」とあるが、製鉄遺跡が多く残っている波賀町、風土記の地名でいうと閭賀里波加村にはそのような記事はない。当ても砂鉄は採れたであろうから、なぜ記録されなかったのか疑問ではある。

続いて③の土地の肥沃度である。『播磨国風土記』ではこれを9等級に格付けしているが、こうした事例は他の国の風土記にはみえず、当国の特徴といえる。播磨にはよほど農政に精通した官人がいたのだろう。なお、宍禾郡の7里は4等級から9等級に格付けられている。残念ながら、紙数が尽きたので続きは次回。

宍粟市歴史資料館 垣内 章



▲三条西家本『播磨国風土記』
(古典保存会)

おいでよ 図書館へ



宍粟市立図書館 ☎62-4620
山崎町鹿沢 81

古典を読む会

毎月第2金曜日 午前10:00～11:30

「源氏物語」と「平家物語」の世界を講師による解説で楽しめます。参加費無料(テキスト代は有料)次回開催は6月14日、申し込みは図書館へ



今月の オススメ

著者/JTBパブリッシング

事前準備の仕方やルー・マナー等の基本情報から、色々なフィールド遊び、野外料理の作り方で写真が多く使われていてわかりやすい一冊です。

自然と親しむはじめてキャンプ
日帰りからベント連れ、テント泊まで、
ヒギナーでも安心！



著者/江口 裕輔

野生動物の習性と被害を防ぐ手法を研究してきた著者が、従来の対策の盲点を指摘し、農家自らの手で出来る新たな対策を詳しく解説しています。

図書館カレンダー

□ 休館日
【開館時間】 午前10時～午後5時30分

日	月	火	水	木	金	土
				15	16	17 18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

5月

6月

編集 後記

先日のさつきマラソンは、前日の雨も上がり時折晴れ間が見える中での開催となりました。前日までの天気予報で雨だと半分諦めていたので撮影担当としても一安心。気温は少し低めでしたが、本格派ランナーからコスプレランナーまで、皆さんの勇姿を無事カメラに収めることができ、大会も宍粟の春を彩る楽しく盛り上がった一日となりました。これもボランティアで運営や警備に携わってくださった皆さんのおかげです。ありがとうございました。

さて、今年は例年にくらべ寒い日が続いているので、えは密かにパッチを愛用しています。さつきマラソンの日も防寒に大活躍。寒いからと言いつつ、年々着用期間は延びています。

え